

第 1 4 事業年度
事業計画書

自 令和 8 年 4 月 1 日
至 令和 9 年 3 月 3 1 日

一般社団法人 留萌管内さけ・ます増殖事業協会
〒098-3312
天塩郡天塩町字川口 5 7 8 8 番地 7
TEL 01632-2-1607 FAX 01632-2-1655
E-mail : tso.123@abelia.ocn.ne.jp
URL : <http://www.rumoi-sakemasu.or.jp>

目 次

基本的な考え方	1
第1 事業計画	2
1 捕獲採卵事業及びふ化放流事業	2～3
2 増殖関連施設整備事業	4
3 資源保護並びに増殖技術開発に関する事業	4～5
4 その他事業	6
収支予算書	7～10
会費の額及び徴収方法	11
別表1 会費・特別負担金・漁獲高負担金	12
別表2 ふ化放流事業費・捕獲採卵事業費	13～14
別表3 特定資産取得・その他資産取得・施設補修	15
別表4 令和8年度ふ化放流計画	16～18

基本的な考え方

令和7年度の全道の秋さけ総来遊量は、沿岸漁獲 562万尾、河川捕獲数 124万尾の合計686万尾となり、前年比 39%と大幅に減少し、低水準の来遊が続く結果となりました。一方、漁獲金額は高値で推移したことから、前年比52%の251億円となりました。

当管内にあっては、沿岸漁獲尾数が前年比77%の18万4,254尾、漁獲金額は高値で推移したことにより、ほぼ昨年と同額の6億2,673万4千円となりました。

当協会においては北海道が策定する「令和8年度さけ・ます人工ふ化放流計画」に基づき、施設の効率的な活用を図りながら、試験研究機関等の指導のもと、親魚・良質種卵の確保や健苗な稚魚の育成管理に万全を期するとともに、油脂添加餌料を与えた稚魚の育成や適期放流などを推進することにより回帰率の安定向上を図ります。

施設整備については、老朽施設の更新や補修等を実施して施設の維持・充実に努めて参ります。

事業運営については、経費の節減に努めるほか、将来の計画的な施設整備を行っていきませんが、近年の漁獲不振により大変厳しい状況にあり、内部留保の取り崩しを行うことを余儀なくされる状況となります。

このようなことから、北海道が主体となり「持続可能なさけ増殖事業検討会」が設置され、今後の事業運営に係る方向性について検討することになっております。又、道増協による第5期(令和4年4月1日～令和9年3月31日)の「増殖体制中期計画」が本年度で終了することから、次期中期計画に向け、第6期「増殖体制中期計画」を「検討協議会」・「作業部会」で協議・検討され、支援事業費制度等のあり方を含めた方針を本年度内に決定することとなっております。

当協会は、公益法人運営のルールに基づき健全な組織運営と効果的・効率的なサケ増殖事業の推進に努め、地域漁業・地域経済の発展に寄与できるよう取り組んで参ります。

さらに、本道のさけ・ます漁業は、漁業経営のみならず、流通・加工業など関連産業に少なからず影響を与えることから、今後とも、さけ・ます資源の高位安定及びサケ増殖事業の安定継続に向け、会員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

< 事業計画 >

1. 捕獲採卵事業及びふ化放流事業計画

北海道が定める「さけ・ます人工ふ化放流計画」及び北海道・道増協と締結している「増殖業務委託契約」に基づき健苗の育成・放流を実施し、資源の増大が図られるよう事業を推進いたします。

(1) 捕獲採卵事業

従前同様に4河川・6捕獲場で実施し、良質卵の確保に努めていきます。各捕獲採卵場の主な推進事項は以下の通りです。

① 天塩川水系

1) 天塩河口捕獲採卵場

安定した事業体制を図るため来遊状況を把握し、捕獲施設の手網の一部を開放して上流域へ親魚を遡上させ、良質卵の確保に努め計画的な採卵を行います。

2) 中川捕獲採卵場

本流とパンケナイ川の合流点は毎年土砂の堆積により親魚遡上に支障を来すことから、河川管理者のご理解の下、河床浚渫を行い、親魚遡上の安定化を図ります。また、従来通り管内で採卵した直後卵は中川ふ化場へ全数収容し、淘汰・検卵後、管内各ふ化場へ移出していきます。

3) 美深捕獲採卵場

水資研 天塩さけます事業所より施設の一部貸与と指導・応援等を受けながら業務を進めます。

② 遠別川捕獲採卵場

遠別川は、増水による河床の変化が大きく、本流との合流点も影響を受けやすいため、河床や合流点の変化に随時対応しながら的確な作業を実施し、安定的な事業の推進に努めていきます。

③ 信砂川捕獲採卵場

例年、遡上親魚は成熟魚が大半であることが多く、前半から安定した捕獲・採卵ができる反面、遡上が短期に集中してしまうことから、その対応として暑寒別川と連携・調整を図りながら良質卵の確保に努めていきます。

④ 暑寒別川捕獲採卵場

例年、捕獲時期の前半は未成熟魚が多く、成熟するまで長期蓄養が必要となるため、信砂川との調整を図りながら事業を推進していきます。又増毛漁協より借用していた採卵舎は老朽が激しいことから、当協会として新規取得いたします。

⑤ その他

本年度も種卵確保が困難な地区が想定されることから、当管内の種卵確保に万全を期した上で、不足地区への種卵供給を視野にいたした捕獲事業を進めていきます。

(2) ふ化放流事業

従前同様、北海道が定めた当年度さけ・ます人工ふ化放流計画（別表4）に基づき、管内放流計画数 41,000 千尾（うち 2,500 千尾は宗谷増協依頼生産）の達成に向け取り組んでいきます。

各河川の2次飼育場への輸送開始は、例年同様3月下旬を目途として事業を進めますので、受入及び飼育管理についてご協力をお願いいたします。

① 中川ふ化場

従前どおり管内で採卵した受精直後卵を全数収容し、淘汰・検卵後に各ふ化場へ移出します。当ふ化場では、8,800 千尾の稚魚生産計画となっており、計画達成に向け、事業を進めていきます。

また、このうち、遠別2次飼育施設に 800 千尾、天塩港湾海中飼育に 900 千尾を移送します。

② 羊蹄ふ化場

飼育密度の過多による魚病等のリスクを回避するため、各2次飼育場への早期受入れを実施することで、当該施設における密度緩和を図りながら健苗育成に努めていきます。なお、生産計画数は 20,700 千尾となっています。

③ 問寒別ふ化場

当ふ化場は、関係漁業者の協力の下に運営されており、引き続き、ふ化・飼育に万全を期し、健苗の育成・放流に努めていきます。なお、生産計画数は 2,500 千尾となっています。

④ 信砂ふ化場

各2次飼育池の取水水温や融雪状況、羊蹄ふ化場の飼育密度を考慮したバランス調整等を図るため、中継施設として当ふ化場で一時収容する手法を適用しています。

また、用水不足等の課題も多々ありますが、本年度も当ふ化場の生産計画数 1,500 千尾の生産にも努めていきます。

⑤ その他

管内には6カ所の2次飼育施設があり、いずれの施設も仕様や用水量が充分ではないため、各施設の点検・改良点の検討などを行い、各管理団体と協議の上で必要に応じて補修・改修等の計画を策定します。

これによって2次飼育の飼育管理を充実させ、各河川の回帰率向上を図っていきます。

以上、捕獲採卵事業・ふ化放流事業に要する費用（予算）内訳については、別表2に記載しています。

2. 増殖関連施設等整備事業

本年度計画する施設整備に要する費用は下表のとおりです。

(単位：千円)

施設名	整備実施内容	事業費	備考
1. 新設関連			
暑寒別捕獲場	採卵舎新築工事 一式	30,514	自己資金
〃	30FT コンテナ倉庫 1基	2,950	〃
信砂ふ化場	エアコン設置 1台	300	〃
小計		33,764	
2. 改修関連			
天塩捕獲場	ウライ胴網購入 1ヶ統	5,500	自己資金
〃	ウライ胴網修理 一式	1,200	〃
〃	船内外機ドライブユニット修理 一式	630	〃
中川捕獲場	魚道ウライ設置工事 一式	4,600	秋サケ環境変動対策事業
中川ふ化場	自動池掃除機ブラシ取替 9台	1,310	〃
小計		13,240	
合計		47,004	
(秋サケ環境変動対策事業については、補助率 1/2 以内)		(5,910)	

3. さけ・ますの資源保護並びに増殖技術開発に関する事業

(1) 河川環境保全対策事業

関係する漁業協同組合並びに北海道漁業環境保全対策本部と連携し、河川の汚染状況及び流木状況のパトロール等を行います。

また、各河川に関わる工事の計画及び施工については、河川関係工事説明会や現地工事視察等にも積極的に参加し、自然環境や増殖事業に影響が及ばない構造・工法の対策について要請活動を行います。

(2) 試験調査事業

1) 河川間の回帰率比較実証調査（さけ・ます広域連携体制構築推進事業）

近年のさけ・ます資源の減少傾向の要因として、海洋環境の変化により放流した稚魚の降海後の生残率の低下が大きいことが指摘されており、秋サケ資源の回復のためには、環境変化に対応した稚魚の放流を行うことで回帰率の向上を図ることが急務であるとされています。

昨年に続き、国（水産庁）が全国さけ・ます増殖振興会を事業主体として実施する当事業に参画し、日本海区内の主要4河川において放流時期の違いによる河川間の回帰率を比較検討していきます。

当管内では、天塩川に放流する稚魚に耳石温度標識を施して放流し、日本海区内における最適な放流時期を検討していきます。（下表）

施標 ふ化場	生産 ふ化場	放流 河川	調査内容	放流 尾数 (千尾)	稚魚 単価 (円)	施標稚魚 売却代 (円)	自己負担額 (1/2) (円)	施標業務 等委託費 (円)
中川	中川	天塩	放流時期の違いによる河川間の 回帰率比較 ※ 日本海区内で天塩川・尻別川・ 利別川・相沼内川を比較	2,840	5.00	14,200,000	7,100,000	191,000

2) 秋サケ環境変動対策事業（中後期資源造成試験）

秋サケ来遊始期の沿岸水温の高温化が回帰率に大きな影響を与えている現状を考慮し、昨年度に続き、北海道が実施する当試験事業に参画します。

当事業では、前期群・中後期群それぞれに異なる耳石温度標識を施した稚魚を放流し中後期群の回帰効果を検証します。

3) さけ増殖資材緊急開発事業

道増協が国（水産庁）の補正予算により実施する当事業に参画し、さけふ化放流の効率化を図るため、餌料効率の向上や新たな飼料の導入等による飼料の技術開発やその成育効果を検証します。

(3) 密漁防止対策事業

留萌振興局から保護水面（信砂川・暑寒別川）管理業務を受託し、密漁監視巡回を実施していきます。

また、密漁多発河川には数年前から人感センサーライトを設置するなど対策を講じており、引き続き密漁監視の体制強化を図っていきます。

(4) 増殖技術研修事業

試験研究機関等が開催する、さけ・ます増殖技術研修会や技術指導等に参加し、職員の技術研鑽及び他の地区増協との情報交換を積極的に行い、技術・知識の向上を図ります。

(5) 資源対策事業

日本海における秋サケ資源の造成について、隣接地区増協と連携及び協力体制の構築に向けて検討・協議を進めていきます。

4. その他事業

(1) 社会教育活動支援

学校教育等におけるふ化・飼育体験教材等として種卵等の供与依頼があった場合には、従前同様その必要性を検討し、所定の手続きを経て協力・供与します。

(2) ヒグマ対策

近年、捕獲採卵場・ふ化場・二次飼育池におけるヒグマの出没が、見受けられることから従業員の安全対策に万全を期する措置を講じます。

資金収支予算書

(令和8年4月1日から 令和9年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入	1,210,000	420,000	790,000	
特定資産利息収入	1,210,000	420,000	790,000	積立金の預金利息
②会費収入	52,218,000	61,000,000	△ 8,782,000	
会員会費収入	3,230,000	3,230,000	0	市町村・漁協・定置会員 P-12【別表1】
漁獲高割負担金収入	45,438,000	54,220,000	△ 8,782,000	P-12【別表1】
特別会費収入	3,550,000	3,550,000	0	漁協 P-12【別表1】
③事業収入	107,978,000	111,928,500	△ 3,950,500	
親魚捕獲採卵事業収入	89,640,000	91,400,000	△ 1,760,000	不要親魚等売却代
河川監視業務委託収入	600,000	600,000	0	
秋サケ環境変動対策事業収入	3,347,000	3,668,500	△ 321,500	中後期資源造成試験(道)
さけ・ます広域連携体制構築推進事業収入	14,391,000	16,260,000	△ 1,869,000	河川間の回帰率比較実証調査(国)
④補助金等収入	35,811,000	48,321,000	△ 12,510,000	
増殖資材緊急開発事業補助金収入	5,071,000	4,218,000	853,000	餌料試験(国)
秋サケ環境変動対策事業補助金収入	3,090,000	3,330,000	△ 240,000	施設整備(道・道増協)
増殖事業支援事業収入	27,650,000	40,773,000	△ 13,123,000	
⑤負担金収入	440,000	480,000	△ 40,000	
種卵調整負担金収入	0	0	0	
特別協力金負担金収入	440,000	480,000	△ 40,000	刺し網漁業者負担金
⑥雑収入	250,000	157,000	93,000	
受取利息収入	250,000	157,000	93,000	流動資産に係る預金利息
雑収入	0	0	0	
事業活動収入計 (a)	197,907,000	222,306,500	△ 24,399,500	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
2. 事業活動支出				
①事業費支出	170,585,000	179,225,000	△ 8,640,000	
役員報酬支出	3,450,000	3,450,000	0	
給料手当支出	24,830,000	24,570,000	260,000	
臨時労務費支出	33,740,000	33,240,000	500,000	
法定福利費支出	4,480,000	4,580,000	△ 100,000	
福利厚生費支出	1,270,000	1,160,000	110,000	
施設補修費支出	12,150,000	19,050,000	△ 6,900,000	フライング網修理・船内外機ドライブユニット修理外
消耗資材費支出	5,480,000	5,380,000	100,000	
餌料費支出	9,590,000	9,990,000	△ 400,000	
除雪費支出	1,150,000	1,150,000	0	
借上費支出	15,110,000	14,410,000	700,000	重機・トラック・発電機・冷凍庫外
車輛費支出	10,080,000	11,380,000	△ 1,300,000	職員車両・種卵稚魚運賃
燃油費支出	4,120,000	4,110,000	10,000	
旅費交通費支出	2,030,000	1,750,000	280,000	
通信費支出	510,000	540,000	△ 30,000	
水道光熱費支出	1,980,000	1,965,000	15,000	
動力費支出	14,780,000	15,260,000	△ 480,000	
保険料支出	1,740,000	1,820,000	△ 80,000	
会議費支出	50,000	50,000	0	
委託費支出	2,210,000	1,980,000	230,000	
親魚等売却諸費支出	6,710,000	6,870,000	△ 160,000	
事業費負担金支出	8,600,000	9,500,000	△ 900,000	回帰比較稚魚売却 7,100千円 2次飼育委託管理 1,500千円
租税公課支出	6,240,000	6,750,000	△ 510,000	
雑費支出	285,000	270,000	15,000	
②管理費支出	34,995,000	33,150,000	1,845,000	
役員報酬支出	3,450,000	3,450,000	0	
給料手当支出	6,370,000	6,340,000	30,000	
退職給付支出	0	0	0	
法定福利費支出	2,200,000	2,200,000	0	
福利厚生費支出	160,000	180,000	△ 20,000	
会議費支出	150,000	180,000	△ 30,000	
交際費支出	350,000	300,000	50,000	
旅費交通費支出	1,100,000	1,000,000	100,000	
通信費支出	500,000	400,000	100,000	
消耗品費支出	150,000	120,000	30,000	
保守修繕費支出	20,000	100,000	△ 80,000	
印刷製本費支出	25,000	50,000	△ 25,000	
水道光熱費支出	600,000	560,000	40,000	
車輛費支出	700,000	700,000	0	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
燃油費支出	200,000	250,000	△ 50,000	
広告宣伝費支出	30,000	30,000	0	
租税公課支出	370,000	150,000	220,000	
負担金支出				
道増協会費支出	10,000	10,000	0	
道増協漁獲高割負担金支出	16,640,000	15,000,000	1,640,000	
図書購入費支出	120,000	120,000	0	
保険料支出	300,000	450,000	△ 150,000	
賃借料支出	1,450,000	1,450,000	0	
雑支出	100,000	110,000	△ 10,000	
事業活動支出計 (b)	205,580,000	212,375,000	△ 6,795,000	
事業活動収支差額 (a)-(b)=(c)	△ 7,673,000	9,931,500	△ 17,604,500	

II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
①特定資産取崩収入	57,374,000	6,170,000	51,204,000	
施設整備積立資産取崩収入	45,374,000	6,170,000	39,204,000	資産取得見合い
増殖事業安定積立資産取崩収入	12,000,000	0	12,000,000	
固定資産売却収入	0	0	0	
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	
役員退任功労金引当資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計 (d)	57,374,000	6,170,000	51,204,000	
2. 投資活動支出				
①特定資産取得支出	3,700,000	4,251,948	△ 551,948	
減価償却引当資産取得支出		0	0	
施設整備積立資産取得支出		0	0	
増殖事業安定化積立資金支出		0	0	
役員退任慰労金資産取得支出	577,500	577,500	0	
退職給付引当資産取得支出	3,122,500	3,674,448	△ 551,948	
②固定資産取得支出	45,374,000	6,170,000	39,204,000	
土地購入支出		0	0	
建物購入支出	33,464,000	0	33,464,000	採卵舎・30FTコンテナ
車輛運搬具購入支出		0	0	
構築物建設支出		0	0	
機械装置購入支出	11,410,000	400,000	11,010,000	ウライ胴網・魚道ウライ・池掃除機ブラシ
借地権購入支出		0	0	
工具器具備品購入支出	500,000	5,770,000	△ 5,270,000	エアコン・パソコン
③その他支出	0	3,300,000	△ 3,300,000	
固定資産除却支出	0	3,300,000	△ 3,300,000	
投資活動支出計 (e)	49,074,000	13,721,948	35,352,052	
投資活動収支差額 (d)-(e)=(f)	8,300,000	△ 7,551,948	15,851,948	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
Ⅲ財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
短期借入金収入	0	0	0	
長期借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計 (g)	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
短期借入金返済支出	0	0	0	
長期借入金返済支出	0	0	0	
財務活動支出計 (h)	0	0	0	
財務活動収支差額 (g)-(h)=(i)	0	0	0	
Ⅳ予備費支出	0	0	0	

当期収支差額 (A)	627,000	2,379,552	△ 1,752,552	
前期繰越収支差額 (B)	121,688,729	124,013,427	△ 2,324,698	
次期繰越収支差額 (A)+(B)	122,315,729	126,392,979	△ 4,077,250	

会費の額及び徴収方法

1. 会員会費等

1市6町1村、4漁業協同組合（8地区部会）及び定置漁業者の正会員及び賛助会員は、次に定める会費負担をお願いします。

(1) 正会員会費

- ① 市町村会員 100,000円
ただし、苫前町は10,000円とする

- ② 漁業協同組合（地区・部会につき） 300,000円
ただし、苫前地区は100,000円とする

- ③ 定置会員（1ヵ統につき） 20,000円

2. 負担金及び特別会費

(1) 漁獲高割負担金

- ① さけ定置網漁業会員は、さけ・ます漁獲金額の8.7%の負担をお願いします。
- ② さけ特別採捕刺網許可漁業は、さけ・ます漁獲金額の8.7%の負担をお願いします。
- ③ 算出の基礎とする漁獲金額は、消費税を除いた金額とします。

(2) 特別協力負担金

- ① 刺網漁業者 20,000円

(3) 特別会費

- ① 漁業協同組合（地区部会）会員は、総額3,550,000円を漁獲取扱高の5ヵ年平均の割合で負担をお願いします。

3. 徴収方法

- ① 会員会費及び特別会費は、7月末日までに本協会指定口座に納入願います。
- ② 漁獲高割負担金については、2回に分けて徴収いたします。
第1回目は9月末日までの水揚げに係る負担金を10月10日までに納入願います。
第2回目は最終水揚げまでの負担金を12月20日までに納入願います。
また、正会員会費については第1回漁獲高割負担金納入時に納入をお願いします。

別表 1

令和8年度 漁獲高割負担金・会費・特別会費徴収基準

○ 漁業者漁獲高割負担金・会費負担表(漁協別)

項目 漁協名	地区別	令和7年度 水揚金額 (千円)	漁獲高割 負担金計画 【8.7%】(千円)	定置業者会費 (千円)	備 考
遠 別	遠 別	21,851	1,711	20	定置網 1カ統X20千円
北 る も い	天 塩	261,619	20,485	80	定置網 4カ統X20千円
	初 山 別	78,225	6,125	40	定置網 2カ統X20千円
	羽 幌	59,709	4,675	40	定置網 2カ統X20千円
	苫 前	5,061	396	0	
	小 計	404,614	31,681	160	
新 星 マ リ ン	小 平	48,939	3,832	20	定置網 1カ統X20千円
	留 萌	38,151	2,987	20	定置網 1カ統X20千円
	小 計	87,090	6,819	40	
増 毛	増 毛	66,754	5,227	100	定置網 5カ統X20千円
合 計		580,309	45,438	320	

注 1. 漁獲高割負担金については、令和7年度水揚金額の90%を想定し算出しました。

○ 漁協特別会費・会費負担表

項目 漁協名	地区別	5カ年平均 水揚金額 (千円)	シェア (%)	特別会費 (千円)	会 費 (千円)	合 計 (千円)	備 考
遠 別	遠 別	26,642	2.6%	93	300	393	
北 る も い	天 塩	463,800	45.6%	1,618	300	1,918	
	初 山 別	127,092	12.5%	443	300	743	
	羽 幌	103,361	10.2%	360	300	660	
	苫 前	6,440	0.6%	22	100	122	
	小 計	700,693	68.8%	2,443	1,000	3,443	
新 星 マ リ ン	小 平	79,974	7.9%	279	300	579	
	留 萌	77,563	7.6%	270	300	570	
	小 計	157,537	15.5%	549	600	1,149	
増 毛	増 毛	133,309	13.1%	465	300	765	
合 計		1,018,181	100.0%	3,550	2,200	5,750	

注 1. シェアの算定は、過去5ヶ年の水揚げ金額の平均をもって按分した。(令和3年～令和7年)

注 2. 特別会費は合計金額(3,550千円)を地区別水揚高シェアに基づき按分し算出した。

○ 市町村会員会費

項目 市町村名	会費負担額 (千円)	備 考
天 塩 町	100	
遠 別 町	100	
初 山 別 村	100	
羽 幌 町	100	
苫 前 町	10	
小 平 町	100	
留 萌 市	100	
増 毛 町	100	
合 計	710	

別表2-①

2. 事業活動支出 令和8年度計画

科 目	ふ化放流事業	捕獲採卵事業	資源保護に関する事業	小 計
役員報酬支出	1,982,500	1,067,500	400,000	3,450,000
職員給料手当支出	16,140,000	8,690,000	0	24,830,000
臨時労務費支出	5,620,000	28,000,000	120,000	33,740,000
法定福利費支出	2,700,000	1,700,000	80,000	4,480,000
福利厚生費支出	130,000	1,090,000	50,000	1,270,000
施設補修費支出	1,050,000	11,100,000	0	12,150,000
消耗資材費支出	2,370,000	3,100,000	10,000	5,480,000
除雪費支出	1,150,000	0	0	1,150,000
餌料費支出	9,590,000	0	0	9,590,000
借上費支出	1,560,000	13,550,000	0	15,110,000
車輛費支出	8,330,000	1,750,000	0	10,080,000
燃油費支出	1,000,000	3,120,000	0	4,120,000
旅費交通費支出	780,000	1,050,000	200,000	2,030,000
通信費支出	320,000	190,000	0	510,000
水道光熱費支出	1,440,000	540,000	0	1,980,000
動力費支出	10,510,000	4,270,000	0	14,780,000
保険料支出	440,000	1,300,000	0	1,740,000
会議費支出	35,000	0	15,000	50,000
委託費支出	110,000	2,100,000	0	2,210,000
事業費負担金支出	8,600,000	0	0	8,600,000
租税公課支出	2,190,000	4,050,000	0	6,240,000
親魚売却諸費支出	0	6,710,000	0	6,710,000
雑費支出	120,000	150,000	15,000	285,000
合 計	76,167,500	93,527,500	890,000	170,585,000

別表2-②

令和8年度ふ化放流事業所予算内訳

科目	中川	問寒別	信砂	2次飼育施設	初山別	羊蹄	共用	合計
役員報酬	0	0	0	0	0	0	1,982,500	1,982,500
給料手当	0	0	0	0	0	0	16,140,000	16,140,000
臨時労務費	0	1,920,000	1,000,000	0	200,000	2,500,000	0	5,620,000
法定福利費	0	0	0	0	0	0	2,700,000	2,700,000
福利厚生費	20,000	0	20,000	0	0	90,000	0	130,000
施設補修費	200,000	100,000	300,000	0	50,000	400,000	0	1,050,000
消耗資材費	1,500,000	50,000	300,000	0	20,000	500,000	0	2,370,000
除雪費	370,000	0	220,000	0	0	560,000	0	1,150,000
餌料費	2,060,000	610,000	800,000	1,670,000	170,000	4,280,000	0	9,590,000
借上費	600,000	210,000	700,000	0	0	50,000	0	1,560,000
車輛費	620,000	0	410,000	6,000,000	0	1,300,000	0	8,330,000
燃油費	450,000	0	250,000	0	0	300,000	0	1,000,000
旅費交通費	40,000	0	70,000	120,000	0	550,000	0	780,000
通信費	90,000	0	90,000	0	0	140,000	0	320,000
水道光熱費	420,000	10,000	550,000	0	10,000	450,000	0	1,440,000
動力費	7,850,000	1,350,000	370,000	0	40,000	900,000	0	10,510,000
保険料	120,000	0	90,000	0	0	230,000	0	440,000
会議費	10,000	0	15,000	0	0	10,000	0	35,000
委託費	30,000	0	40,000	0	0	40,000	0	110,000
事業負担金	7,100,000	0	0	1,500,000	0	0	0	8,600,000
租税公課	190,000	0	0	0	0	2,000,000	0	2,190,000
雑費	10,000	5,000	15,000	5,000	5,000	80,000	0	120,000
計	21,680,000	4,255,000	5,240,000	9,295,000	495,000	14,380,000	20,822,500	76,167,500

令和8年度捕獲探卵事業所別予算内訳

科目	天塩河口	中川	美深	遠別	信砂	暑寒別	共用	合計
役員報酬	0	0	0	0	0	0	1,067,500	1,067,500
給料手当	0	0	0	0	0	0	8,690,000	8,690,000
臨時労務費	14,500,000	0	5,800,000	1,300,000	3,200,000	3,200,000	0	28,000,000
法定福利費	0	0	0	0	0	0	1,700,000	1,700,000
福利厚生費	670,000	10,000	80,000	60,000	150,000	120,000	0	1,090,000
施設補修費	2,800,000	100,000	100,000	7,000,000	400,000	700,000	0	11,100,000
消耗資材費	1,500,000	150,000	150,000	300,000	700,000	300,000	0	3,100,000
借上費	5,400,000	50,000	900,000	3,700,000	1,900,000	1,600,000	0	13,550,000
車輛費	250,000	800,000	0	0	500,000	200,000	0	1,750,000
燃油費	1,400,000	350,000	150,000	650,000	320,000	250,000	0	3,120,000
旅費交通費	750,000	70,000	120,000	0	70,000	40,000	0	1,050,000
通信費	0	90,000	0	0	100,000	0	0	190,000
水道光熱費	200,000	20,000	0	80,000	160,000	80,000	0	540,000
動力費	70,000	3,000,000	700,000	350,000	70,000	80,000	0	4,270,000
保険料	450,000	450,000	60,000	0	150,000	190,000	0	1,300,000
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	20,000	20,000	20,000	2,000,000	20,000	20,000	0	2,100,000
事業費負担金	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	50,000	0	0	0	0	0	4,000,000	4,050,000
親魚売却費	0	0	0	0	0	0	6,710,000	6,710,000
雑費	70,000	5,000	10,000	10,000	15,000	10,000	30,000	150,000
計	28,130,000	5,115,000	8,090,000	15,450,000	7,755,000	6,790,000	22,197,500	93,527,500

別表 3

投資活動支出 令和8年計画 特定資産取得・施設整備・改修計画等の内訳

1. 特定資産取得

(円)

科	目	内 訳	金 額
特定資産取得支出計画	役員退任慰労引当金支出	常勤役員退任積立	577,500
	退職給付引当金資産取得支出	職員退職金積立	3,122,500
小計			3,700,000

2. 施設整備費

科	目	内 訳	金 額
捕獲採卵事業	暑寒別捕獲場	建 物 採卵舎新築工事 1式	30,514,000
	//	// 30FTコンテナ倉庫 1基	2,950,000
小計			33,464,000
心化放流事業	信砂心化場	器具・備品 事務所エアコン設置 1台	300,000
小計			300,000
合計			33,764,000

3. 施設補修費

科	目	内 訳	金 額
捕獲採卵事業	天塩捕獲場	機 械・装 置 ウライ胴網購入 1ヶ統	5,500,000
小計			5,500,000
心化放流事業	中川捕獲場	機 械・装 置 魚道ウライ設置工事 一式	4,600,000
		// 自動池掃除機ブラシ取替 9台	1,310,000
小計			5,910,000
その他	パソコン 1台	器具・備品	200,000
小計			200,000
合計			11,610,000

1. ~ 3. 合計			49,074,000
------------	--	--	------------

令和8年度 サケ時期別ふ化放流計画

海区	地区	期別	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	供給卵数 (千粒)	供給卵内訳		受給卵数 (千粒)	収容卵数 (千粒)	生産尾数 (千尾)	稚魚 移動数 (千尾)	稚魚 移入元 収容場	稚魚 移入数 (千尾)	放流数 (千尾)	期別割合
						供給先 収容場	供給卵数 (千粒)								
日本海	北部	前期	31,600	33,150	5,100	中頓別	3,600	0	28,050	23,900	15,350	新朝日	1,250	25,150	61.3%
						新朝日	1,500								
		中期	20,000	21,050	4,100	中頓別	2,600	0	16,950	14,600	9,550	新朝日	1,250	15,850	38.7%
						新朝日	1,500								
留萌管内計			51,600	54,200	9,200		9,200	0	45,000	38,500	24,900		2,500	41,000	100.0%

* 供給卵数 : 留萌振興局管内から他(総合)振興局管内に移殖する卵数

令和8年度 留萌管内増協 サケふ化放流計画（河川別合計）

海区	地区	(総合) 振興局	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	地区間移殖卵数			水資研への 供給卵数 (千粒)	ふ化場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	
						供給先	供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)			
日 本 海	北 部	留 萌	天塩	3,000	3,100	中頓別	6,200	5,600	中川	8,300	7,100			天塩	14,600		
			中川	10,400	10,800				※天塩	5,600	5,000						
			美深	9,700	10,100				問寒別	2,900	2,500						
			天塩計	23,100	24,000	新朝日	3,000	中川	1,000	900	中川	900	900	◎天塩港湾	900		
			遠別	9,800	10,500			(天塩計)	17,800	15,500		900		15,500			
								中川	1,000	800	中川	800	新朝日	2,500	遠別	4,600	
											羊蹄	1,300	羊蹄	700	風連別	700	
													羊蹄	300	◎豊岬漁港	300	
													羊蹄	1,700	羽幌	1,700	
													羊蹄	300	◎苫前漁港	300	
											信砂	1,770	1,500	信砂	5,500		
														羊蹄	4,000	暑寒別	9,800
														羊蹄	9,800	暑寒別	9,800
														羊蹄	600	◎別荘漁港	600
			留萌管内計	51,600	54,200		9,200	0	5,600	5か所	45,000	38,500	24,900	11水系	41,000		

注：捕獲場の()は補完河川、移殖卵数は地区間又は海区間の移殖数、ふ化場・稚魚供給場の※は水資研、放流水系の◎は海中飼育等放流

令和8年度 留萌管内増協 サケふ化放流計画（前期）

海区	地区	(総合)振興局	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	地区間移殖卵数			水資研への 供給卵数 (千粒)	ふ化場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)			
						供給先	供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)					
日 本 海	北 部	留 萌	天塩	2,000	2,100	中頓別	3,600	2,700	中川	5,500	4,700			天塩	8,300				
			中川	7,500	7,800					※天塩	2,700					2,350			
			美深	4,200	4,350					問寒別	1,450					1,250			
			天塩計	13,700	14,250	新朝日	1,500			中川	1,000	900	中川	900	◎天塩港湾	900			
			遠別	5,600	5,920						(天塩計)	10,650	9,200						9,200
											中川	800	中川	800	遠別	3,350			
											新朝日	1,250	羊蹄	1,300	風連別	400			
											羊蹄	400	羊蹄	900	羽幌	900			
											羊蹄	300	◎苫前漁港	300					
											羊蹄	1,700	小平藁	1,700					
											信砂	7,600	8,000	信砂	3,500				
											暑寒別	4,700	4,980	羊蹄	2,000	暑寒別	5,500		
														羊蹄	5,500	◎別茹漁港	300		
									羊蹄	300									
前期 地区計			31,600	33,150		5,100	0	2,700	5か所	28,050	23,900		15,350	10水系	25,150				

令和8年度 留萌管内増協 サケふ化放流計画（中期）

海区	地区	(総合)振興局	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	地区間移殖卵数			北水研への 供給卵数 (千粒)	ふ化場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)							
						供給先	供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)									
日 本 海	北 部	留 萌	天塩	1,000	1,000	中頓別	2,600	2,900	中川	2,800	2,400			天塩	6,300								
			中川	2,900	3,000					※天塩	2,900					2,650							
			美深	5,500	5,750					問寒別	1,450					1,250							
			天塩計	9,400	9,750	新朝日	1,500			中川	7,150	6,300	新朝日	1,250	遠別	1,250							
			遠別	4,200	4,580						羊蹄	300	風連別	300									
											羊蹄	300	◎豊岬漁港	300									
											羊蹄	800	羽幌	800									
											羊蹄	300	小平藁	300									
											信砂	4,000	4,200	羊蹄	2,000	信砂	2,000						
											暑寒別	2,400	2,520	羊蹄	4,300	暑寒別	4,300						
														羊蹄	300	◎別茹漁港	300						
			中期 地区計								20,000	21,050		4,100	0	2,900	4か所	16,950	14,600		9,550	9水系	15,850

注：捕獲場の()は補完河川、移殖卵数は地区間又は海区間の移殖数、ふ化場・稚魚供給場の※は水資研、放流水系の◎は海中飼育等放流